

✍ 取組概要

- 人権・男女共生課と危機管理課が連携し、地域の女性の防災リーダーを養成するための「女性防災リーダー育成講座」を実施

取組のきっかけ 『地域で活躍する女性の防災リーダーを増やしたい！』

東日本大震災の被災地で、災害時に女性が直面する問題が表面化した。茨木市でも、自治会長などに男性が多い地域では、男女共同参画に関する防災の取組が浸透しにくい状況であることを懸念していた……

防災分野での女性の参画拡大を図るため、自主防災組織への女性の参画率を数値目標として茨木市男女共同参画計画に明記した。



男女共同参画課(現:人権・男女共生課)とその所管施設である男女共生センターローズWAMが、市民を対象とした「女性防災リーダー育成講座」を実施。

人権・男女共生課と危機管理課が連携し、市の会議などに参画する女性の防災リーダーを増やしていくことを目指そう！

大阪府
茨木市 男女共生センター
ローズWAM

電話:072-620-9920
<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/shimin/wam/>

茨木市HP▶



25

事例10 「防災以外の分野で活躍する女性を巻き込み、地域で活躍できる女性の防災リーダーを増やす！」 大阪府茨木市

【取組概要】

- 人権・男女共生課と危機管理課が連携し、地域の女性の防災リーダーを養成するための「女性防災リーダー育成講座」を実施しました。

【取組のきっかけ】

- 東日本大震災(気象庁が定めた名称:平成23年東北地方太平洋沖地震)の被災地で女性が直面する問題が表面化し、防災の分野に女性の視点が不足しているといった課題が広く認識されました。そのような中、茨木市では、防災リーダーとして自主防災組織連絡会の会議などへ参画している女性は少なく、自治会長等に男性が多い地域では、男女共同参画に関する取組が浸透しにくい状況であることを懸念していました。
- そこで市は、取組やすい防災分野から男女共同参画の取組を進めることとし、平成24年度、「第2次茨木市男女共同参画計画」を策定し、防災分野での女性の参画拡大を図るため、自主防災組織への女性の参画率を数値目標として決めました。
- そして、計画を実現する具体的な行動として、地域で活躍できる女性の防災リーダーを育成することとし、男女共同参画課(現:人権・男女共生課)とその所管施設である男女共生センターローズWAM(※)が、市民を対象とした女性の視点からの防災講座を企画・提案し、危機管理課と共催で研修を実施することにしました。
- 今後も人権・男女共生課と危機管理課が連携しながら、男女共同参画の視点から地域や地域防災の課題について話し合える地域づくりを促進し、市の会議などに参画する女性の防災リーダーを増やしていくことを目指しています。

※「男女共生センターローズWAM」とは、茨木市の男女共同参画社会実現のための拠点施設です。茨木市の男女共同参画に関する施策については、人権・男女共生課が計画を担当し、男女共生センターローズWAMが計画を実施する担当として役割分担しています。

(<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/shimin/wam/>)

1 防災以外の活動をしている女性を巻き込み、地域防災の人材を増やす！

女性防災リーダー育成事業

1. 人権・男女共生課が危機管理課に企画を持ち込み、連携しながら研修を行うこととした こんないいことがあった！
2. 受講者には、男女共生センターとつながりのあった地域の女性団体に加えて、危機管理課が平常時から関わりのある自主防災組織の女性を対象とし、計4回の連続講座を実施した こんないいことがあった！
3. 連続講座では、できるだけ同じ方に参加してもらうようお願いした
参加する際には、地域の仲間を連れてきてもらうように声かけをしていた こんないいことがあった！
4. これまでは地域住民のみ対象としていたが、福祉部局や子育て部局など、災害時に要配慮者支援として関わる部署も、研修に参加してもらった こんないいことがあった！

講座の企画・運営、講師との調整や広報、参加者の受付は男女共生センター、自主防災組織など防災関係者への周知は危機管理課など、役割分担をしながら効率的に研修の準備が進められる！

地域で実際に活動している女性に対して、地域の防災活動への女性参画の重要性について理解を促せた！
地域の自主防災組織に地域の女性団体からの受講者を巻き込み、女性の参加者が増えた！

同じ地域の女性の受講者が増えたことで、女性同士の連携がしやすくなり、男性のリーダーたちに講座の内容を共有したり、研修会を企画・実施できた！

防災を通じた部署の連携や、地域との関わりの場になるなど、多様な人々の連携のきっかけになっている



26

①防災以外の活動をしている女性を巻き込み、地域防災の人材を増やす！

<女性防災リーダー育成講座>

1. 「女性防災リーダー育成講座(※)」は、人権・男女共生課が企画提案し、危機管理課に企画を持ち込み、当時の危機管理課長に連携を依頼したことで開始しました。防災を切り口に事業を展開することについては、すでに計画化されていました。両部局で連携することで、講座の企画・運営、講師との調整や広報、参加者の受付は男女共生センターローズWAMが担当し、自主防災組織など防災関係者への周知は危機管理課が担当するなど、役割分担をしながら研修を進められています。
2. 講座の受講者には、男女共生センターローズWAMとつながりのあった地域の女性団体に加え、危機管理課が平常時から関わりのある自主防災組織の女性を対象とし、参加を呼びかけました。これにより、地域で実際に活動している女性に対して、地域の防災活動への女性参画の重要性について理解を促すことができました。また、地域の自主防災組織に地域の女性団体からの受講者を巻き込むことができ、女性の参加者が増えました。
3. 講座は4回の連続講座となっており、できるだけ同じ方に参加してもらうようお願いしました。またその際に、地域の仲間を連れてきてほしいと声かけをしていました。同じ地域の女性の受講者が増えたことで、地域内で女性同士の連携がしやすくなりました。これにより、自主防災組織などの男性のリーダーたちに講座の内容を共有したり、研修会を企画・実施したりすることができました。受講者の中には、PTAや地区福祉委員会と連携しながら地域で新たな取組を進めている方もいます。
4. 福祉部局や子育て部局など、災害時に要配慮者支援として関わる部署に対して、研修に参加してもらいました。業務として参加を依頼する際には通知文を持参し、課レベルで調整しています。「なぜその部署に参加を依頼するのか、といった依頼する理由や、その部署は災害時にどのように関わるのか、といった災害対策において必要になることなどの切り口から説明するようにしました。これにより、防災を通じた部署の連携や地域との関わりの場になるなど、多様な人々の連携のきっかけになっています。

※「女性防災リーダー養成講座」では、平成26年度から防災活動における男女共同参画の視点を含めた取組ができるよう、自主防災組織の運営を担い、方針決定過程へ参画できる女性の防災リーダーを育成しています。

(<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/soumu/kikikanri/menu/jishu/56699.html>)